

# 有毒植物

## に注意しましょう!!

例年、春の山菜採りシーズンに有毒植物の誤食による食中毒が全国で多発し、**死者も発生**しています。岐阜県内においても、過去10年間にハシリドコロやスイセンなどによる食中毒が5件発生しています。



**食用の野草と確実に判断できない植物は採らない! 食べない! 売らない! 人にあげない!**

- 家庭菜園や畑などで、野菜と観賞植物を一緒に栽培するのはやめましょう。
- 山菜に混じって有毒植物が生えていることがあります。山菜採りなどをするときには、一本一本よく確認して採り、調理前にもう一度確認しましょう。
- 生産者や販売者は商品をよく確認し、食用と確実に判断できないものは出荷・販売しないようにしましょう。

### 《注意が必要な有毒植物》

可食植物と間違いやすいもの		その他 注意が必要なもの	
有毒な山野草	有毒な園芸植物	名称で間違いやすいもの	野菜の一部が有毒なもの
バイケイソウ、コバイケイソウ、ハシリドコロ、トリカブト、ドクゼリ など	スイセン、グロリオサ、アジサイ、クワズイモ、チョウセンアサガオ、イヌサフラン(コルチカム) など	ヨウシュヤマゴボウ (食用可能なヤマゴボウとは別) カロライナジャスミン (ジャスミンとは別) など	モロヘイヤ (実や種、茎、発芽直後の若葉は有毒)、ジャガイモ (芽、緑化した部分) など

#### 過去10年間の有毒植物による食中毒発生状況 事件数上位6位(平成21年~30年)

植物名	事件数	患者数	死亡数
スイセン	48	180	1
バイケイソウ	16	33	0
チョウセンアサガオ	16	39	0
ジャガイモ	21	346	0
クワズイモ	13	26	0
イヌサフラン	13	19	8

※その他 トリカブトで3人死亡者が発生



#### 可食植物と有毒植物の混生の例

芽生え期のトリカブト(有毒)とその周囲のニリンソウ(可食)

厚生労働省  
「自然毒のリスクプロファイル」HPより転載



岐阜県

# 岐阜県内で発生した有毒植物を原因とする食中毒事例

## コバイケイソウ (平成22年4月)

県内の山林で採取した山菜を自宅で調理して食べた4人が、嘔吐、血圧低下などの症状を訴えた。

患者らはコシアブラやフキノトウといった山菜とともに、コバイケイソウをオオバギボウシと間違えて採取していた。



〈芽出し期※〉



〈残品〉

間違いやすい植物

オオバギボウシ(ウルイ) など

## ハシリドコロ (平成23、28年4月)

(平成23年) 県内の農産物直売所で販売されていた山菜を購入し、自宅で調理して食べた5人が、めまい、意識障害などの神経症状を訴えた。

(平成28年) 県内の山林で採取した山菜を自宅で調理して食べた2人のうち1人が意識不明、1人が意識混濁状態となり、医療機関に搬送された。



〈自生地で撮影〉



〈採取品〉

間違いやすい植物

フキノトウ、タラの芽、ハンゴンソウなど

## スイセン (平成26年5月)

県内の河川敷で採取した植物を自宅で調理して食べた5人が、嘔吐などの症状を訴えた。

患者らはニラと間違えてスイセンの葉を採取していた。



〈残品〉



〈スイセンの鱗茎※〉

間違いやすい植物

葉: ニラ、ノビル  
など  
球根: タマネギ

## イヌサフラン (平成28年5月)

県内の農産物直売所で「ギョウジャニンニク」として販売されていた山菜を購入し、自宅で調理して食べた3人のうち1人が、下痢、嘔吐などの症状を訴えた。

生産者はイヌサフラン(コルチカム)をギョウジャニンニクと勘違いして出荷しており、直売所でも気づかずに販売してしまった。



〈生産者の畑から採取〉



〈鉢植え〉

間違いやすい植物

葉: ギョウジャニンニク  
球根: にんにく、たまねぎ、ジャガイモ など

※厚生労働省「自然毒のリスクプロファイル」HPより転載

## 岐阜県 健康福祉部 生活衛生課

TEL: 058 - 272 - 1111 (内線2565) FAX: 058 - 278 - 2627  
e-mail: c11222@pref.gifu.lg.jp

〈岐阜県 「有毒植物による食中毒」のHP〉

URL <https://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/shoku/shokuhin/11222/doku-shokubutu.html>

岐阜県 有毒植物による食中毒

検索

